

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第三学年 国語



組	番号	名前

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

- 1 「身近な環境問題」というテーマに対する【松田さんのスピーチ】を読んで、後の問いに答えなさい。

【松田さんのスピーチ】

みなさんは、「フードマイレージ」という言葉を聞いたことがありますか。「フードマイレージ」は、「食料の輸送量」に「輸送距離」をかけ合わせたものです。この数値が高いほど、輸送に多くのエネルギーを使います。食料の輸入量が多く、島国ゆえに輸送距離も長い日本は、このフードマイレージが世界でもトップクラスなのだそうです。先日、家族でスーパーマーケットに行ったら、外国産の野菜や果物が思った以上に多く売られていて驚きました。また、国内製造の加工品でも、原料は外国産という場合もあります。

環境を保護するために、フードマイレージを下げる必要があります。そのためにはまず、フードマイレージの考え方を多くの人に知ってもらうことが大事だと思います。「フードマイレージ」は、船なのか、飛行機なのか、というような輸送手段は考慮されておらず、距離による環境負荷に限定されているというデメリットがあります。ケースバイケースなので、外国産が一概に良くない、ということではありません。しかし、食材が食卓に届くまでに環境に影響を与えている、ということを考えるのに、とてもシンプルでイメージしやすい指標だと感じました。ぜひ、今後買い物するときは、新しい判断基準の一つに取り入れてもらえたらと思います。道の駅やスーパーマーケットの地元野菜コーナーで買い物すれば新鮮な食材が手に入りますし、家庭菜園にチャレンジするのも楽しいのではないのでしょうか。私も、自分のできることから意識して始めてみたいと考えています。

（問題作成者の自作による）

（1）【松田さんのスピーチ】の工夫として適切でないものを一つ選びなさい。

レベル 10

- 1 聞き手に対して提案や質問を投げかけ、聞き手の興味を引き付けている。
- 2 聞き手の反論を想定し、弱い部分を正直に話すことでメリットを強調している。
- 3 具体的な自分の体験を話し、聞き手のイメージを広げようとしている。
- 4 自分の考えには触れず、事実のみを客観的に伝えて説得力をもたせようとしている。



(2) 田中さんたちが、松田さんのスピーチを聞いて話し合っています。会話を読んで、後の問いに答えなさい。

田中さん：「フードマイレージ」という考え方を初めて知りました。食品ロスや過剰包装、という言葉は聞いたことがありましたが、食べ物が食卓に届くまでの環境負荷、というのもあるんですね。

山田さん：つまり、同じ量のアメリカ産と北海道産のジャガイモなら、アメリカ産の方がフードマイレージが高いから、環境への負荷も大きい、ということですね。

田中さん：そういうことですね。松田さんのスピーチの中で
実際に、A
という具体的な説明があつたら、もつとイメージしやすいですよ。

水野さん：そこを比べるとわかりやすいですね。自分の家が買う物のフードマイレージを調べてもおもしろいですね。外国産が意外と多くて、フードマイレージが高いのではないのでしょうか。

山田さん：そうですね。松田さんのスピーチは、外国産の食べ物の批判ではなく、新しい視点の紹介、という感じだったので、考えるきっかけになりましたね。

水野さん：環境問題というテーマのスピーチでしたが、日本の食糧自給率の問題にも関わってきますね。世の中の問題は、関わり合っているんですね。調べてみたいことがあるらとできてきましたね。

問一 【田中さんたちの会話】について述べているものとして最も適切なものを一つ選び、答えなさい。

レベル10

- 1 相手の言葉を具体的に言い換えて、自分の理解が正しいかを確認している。
- 2 前に出た意見に反論して、反対の立場から意見を述べている。
- 3 スピーチの内容を順序立てて振り返り、内容を確認している。
- 4 質問をすることで課題を明確にし、話し合いの内容を絞ろうとしている。

問二

A には、松田さんのスピーチに対して、田中さんが付け加えたほうがよいと思った内容が入ります。考えて書きなさい。

レベル10



埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第三学年 国語



組
番号
名前

模範解答

- 【「話すこと・聞くこと」を問う問題】
- 1 「身近な環境問題」というテーマに対する【松田さんのスピーチ】を読んで、後の問いに答えなさい。

【松田さんのスピーチ】

みなさんは、「フードマイレージ」という言葉を聞いたことがありますか。「フードマイレージ」は、「食料の輸送量」に「輸送距離」をかけ合わせたものです。この数値が高いほど、輸送に多くのエネルギーを使います。食料の輸入量が多く、島国ゆえに輸送距離も長い日本は、このフードマイレージが世界でもトップクラスなのだそうです。先日、家族でスーパーマーケットに行ったら、外国産の野菜や果物が思った以上に多く売られていて驚きました。また、国内製造の加工品でも、原料は外国産という場合もあります。

環境を保護するために、フードマイレージを下げる必要があります。そのためにはまず、フードマイレージの考え方を多くの人に知ってもらうことが大事だと思います。「フードマイレージ」は、船なのか、飛行機なのか、というような輸送手段は考慮されておらず、距離による環境負荷に限定されているというデメリットがあります。ケースバイケースなので、外国産が一概に良くない、ということではありません。しかし、食材が食卓に届くまでに環境に影響を与えている、ということを考えるのに、とてもシンプルでイメージしやすい指標だと感じました。ぜひ、今後買い物するときは、新しい判断基準の一つに取り入れてもらえたらと思います。道の駅やスーパーマーケットの地元野菜コーナーで買い物すれば新鮮な食材が手に入りますし、家庭菜園にチャレンジするのも楽しいのではないのでしょうか。私も、自分のできるところから意識して始めてみたいと考えています。

（問題作成者の自作による）

（1）【松田さんのスピーチ】の工夫として適切でないものを一つ選びなさい。 **レベル10**

- 1 聞き手に対して提案や質問を投げかけ、聞き手の興味を引き付けている。
 - 2 聞き手の反論を想定し、弱い部分を正直に話すことでメリットを強調している。
 - 3 具体的な自分の体験を話し、聞き手のイメージを広げようとしている。
 - 4 自分の考えには触れず、事実のみを客観的に伝えて説得力をもたせようとしている。
- 1 提案や質問 ↓ 「聞いたことがありますか」 「〜ではないでしょうか」
- 2 弱い部分 ↓ 「〜というデメリット」
- 3 自分の体験 ↓ スーパーマーケットでの買い物 4 ↓ 自分の考えを述べている

(2) 田中さんたちが、松田さんのスピーチを聞いて話し合っています。会話を読んで、後の問いに答えなさい。

田中さん：「フードマイレージ」という考え方を初めて知りました。食品ロスや過剰包装、という言葉は聞いたことがありましたが、食べ物が食卓に届くまでの環境負荷、というのもあるんですね。

山田さん：つまり、同じ量のアメリカ産と北海道産のジャガイモなら、アメリカ産の方がフードマイレージが高いから、環境への負荷も大きい、ということですよ。

田中さん：そういうことですね。松田さんのスピーチの中で、A 実際には、A という具体的な説明があつたら、もつとイメージしやすいですよ。

水野さん：そこを比べるとわかりやすいですね。自分の家を買う物のフードマイレージを調べてもおもしろいですね。外国産が意外と多くて、フードマイレージが高いのではないのでしょうか。

山田さん：そうですね。松田さんのスピーチは、外国産の食べ物の批判ではなく、新しい視点の紹介、という感じだったので、考えるきっかけになりましたね。

水野さん：環境問題というテーマのスピーチでしたが、日本の食糧自給率の問題にも関わってきますね。世の中の問題は、関わり合っているんですね。調べてみたいことがあるらうとできましたね。

問一 【田中さんたちの会話】について述べているものとして最も適切なものを一つ選び、答えなさい。レベル10

↓「つまり、同じ量の」ということですよ。」

- 1 相手の言葉を具体的に言い換えて、自分の理解が正しいかを確認している。
- 2 前に出た意見に反論して、反対の立場から意見を述べている。
- 3 スピーチの内容を順序立てて振り返り、内容を確認している。
- 4 質問をすることで課題を明確にし、話し合いの内容を絞ろうとしている。

1

問二

A には、松田さんのスピーチに対して、田中さんが付け加えたほうがよいと思った内容が入ります。考えて書きなさい。レベル10

例 外国産と国産では、どのくらいフードマイレージに差があるか

↓田中さんの「実際に」「具体的な説明」という言葉や、水野さんの「比べるとわかりやすい」という言葉から考える。

